

第一問 《解答・解答例》

問一

- ① 恣意
- ② 素人
- ③ 普遍
- ④ 大胆
- ⑤ 割（く）
- ⑥ 吟味
- ⑦ 審査
- ⑧ 更新
- ⑨ 委（ね）
- ⑩ 許容

問二

あらかじめ設定された「答え」に辿り着く努力である「通常科学」を、すでに示された「答え」であるジグソーパズルの下絵に基づいてピースをあてはめる行為にたとえたもの。（80字）

問三

仮に実験結果がパラダイムの予測に合致せず失敗したとしても、それはその方向性ではうまくいかないということの証明であり、「なぜそうなったのか」という新たな課題が見出されたことは結果として科学を「進歩」させたことになるから。（110字）

問四

科学者が、研究活動やその成果の評価を従来の考え方であるパラダイムに基づいてしか行わず、パラダイム自体の正当性を問うようなことをしないという状況。（69字）

問五

科学が資本主義と結びつくと、一見専門家以外の外部の視点を取り入れたことによって閉鎖性を解消したようにみえるが、実際はパラダイム自体の批判を含んだものではなく、かつ、その価値は市場価値をもたらすかどうかという目先の基準ではかられるため、「真理の探究」という科学のあるべき姿からは離れてしまうから。（147字）

第二問

【解答例】

問一

① 三位の中將

② 右大將（父大臣）

問二 初冬は、降ったり止んだりする時雨が多い、不安定な天候の続く季節であること。

問三 大切に育てていらっしやると聞くのだが

問四 母君が、出仕した姫君が多く、女御や更衣に囲まれて暮らしていけるか不安に思われて（39字）

問五 姫君の、柔らかな春風にもなびきそうな柳にも似た弱々しい様子。（30字）

問六 姫君が三位の中將と契りを結んだことを知った父の右大將が怒ってしまい、手紙のやりとりすらできなくなったために、姫君と三位の中將の関係が終わってしまったということ。（80字）

注意 人文学部・教育学部受験者用

第三問 解答例

- 問一 ①もし ②つねに ③ついに(つひに) ④また

問二 鏡

- 問三 B いづくんぞ(いづくんぞ) みずから(みづから) しらん
C いやしくもよくわがみをなさば / もしよくわがみをなさば

問四 私の言葉を相手は必ずや信用するはずであり、相手の行為を私は疑わない。

問五 我が身の成長を促し、終日正しい行動を重んじ、名声を求めることなく道徳上の欠点を取り除いてくれるような正直な友人を探し求めること。

解答例【公表用】

問一 あるモノを「受け手」がどう受けとるかは「作り手」には分からないし、その感情が表情にでるかどうかも分からないのに、「受け手」が「笑顔になる」という結果を、「作り手」が目標として設定すること。(九十四字)

問二 子供に「やる気スイッチ」があるといった言語表現が、表現だけにとどまらず、子供を実際にロボット扱いするなど、その表現を使う人の思考や行動も規定してしまうという特徴。(八十六字)

問三 報道番組の枠組みのなかに、ニュースを伝える人の個人的な思いや考えが濃厚に入り込むうちに、ニュース報道は客観的でなければならないという原則が忘れられてしまうかもしれないということ。(八十九字)

問四 本来、送り手にはコントロールできないはずの受け手の情動的な反応が先取りされ、「書き手の視点」と「読み手の視点」が交錯してしまい、送り手の個人的な思いが受け手に押しつけられる。さらに、受け手の情緒的反応が重視されるあまりコンテンツが軽視され、言語表現そのものも上滑りなものになってしまうといった問題点。(百四十九字)